

1月2月 行事予定

月	日	曜日	行事	時間	集合場所	参加費
1	4	土	里山保全体験(竹林の手入れ・竹細工)	9:30 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	12	日	お正月遊びと餅つき	10:00 ~ 12:00	円形広場	800
	26	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00		500
	11	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	18	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00		
	25	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00		
1	土	里山保全体験(竹林の手入れ・竹細工)	9:30 ~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎		
2	日	冬の野鳥観察会	8:00 ~ 11:00		レストハウス	
2	15	土	親子炭焼体験	10:00 ~ 15:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	800
	23	日	ネイチャークラフト作り	10:00 ~ 15:00	円形広場	500
	8	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00 ~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	15	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00 ~ 17:00		
	22	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00 ~ 12:00		

<応募方法> 行事開催10日前までに一行事ごとにHPまたは往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の1週間前までにご連絡致します。ホームページ <https://tzksatokura.org/> お問い合わせ tsuzuki-park@tmtv.ne.jp



1月 保全田畑部会 各エリア維持管理予定表		
日付	曜日	9時-12時 13時-17時
7	火	(園内) 枯枝拾い、落葉掻き、(I-①): 薪わり
9	木	(H) パラ花壇、蕾/葉の抜き取り、除草
13	月	(B3) 無煙炭化材づくり、(I-①): 薪わり
16	木	(B1) 竹林の整備(枯竹の除去)、竹細工の日
21	火	(G) 蛙ハウスの設置
23	木	(B1) 竹林の整備-米糠
28	火	(B2) 竹林の整備-米糠
30	木	(園内) パトロール、(I-①) 部会会議

里山の恵み

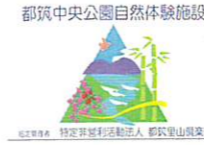
■PURE ハチミツ
計り売り 1g/8円
1びん/1800円

■竹細工各種
200円
■青竹材
200円/1m

■バラ炭 袋入り
750g/300円
5Kg/1200円

■竹酢液 濾過品
2L/500円
蒸溜品 500ml/500円

都筑中央公園はグリーンマトリックスシステムの中核となる区内最大の総合公園



里山便り

12月号

令和6年12月31日 第268号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 岩嶋 伸幸
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-8 Tel& Fax 045-941-0987

令和7年の新年を迎えるにあたり、いつも「都筑中央公園」をご利用いただいております地域の皆様「新年あけましておめでとうございます。」

当倶楽部のメンバーも工夫をこらして精一杯活動をやってまいりました。これも皆様のご理解あつての事と感謝致しております。今年こそは皆様の生活に新しい幸せの風が吹き、明るい日々が訪れることを心から願っております。里山倶楽部は春の「バラまつり」をはじめとして「里山まつり」まで皆様のご満足が得られ、訪れて頂いて楽しかったと感じて頂ける環境作りに努力してまいります。有史以来、人とのかかわりを続けてまいりました緑多き都筑中央公園にお出かけ頂き、一日一日を楽しかったと満足して頂けるよう努力を重ねてまいります。

お時間の許す限り、緑多き公園にお出かけ下さい。「訪れて良かった」というひと時を応援してまいります。今年も一緒に気持ちのいいすがすがしいひと時を里山で過ごしましょう。

特定非営利活動法人
都筑里山倶楽部
理事長 岩嶋 伸幸



12/1(日) 里山のめぐみでリース作り

12月最初の日にはばじょうじの陽だまりで、今年もクリスマスリースを作りました。ジャンボ松ぼっくり、モミジバフーの実、メタセコイヤの実、赤い実付きアメリカンホールリー、リボン、赤と金色のクリスマスボール。ベースとなる飾りの素材を各参加者に配布してもらい、思い思い自由にリースに作り上げてもらいました。同じ素材を使ってもらいましたが、出来上がったリースはどれも個性的で素敵なリースになりました。

毎年、参加者の皆さんの美的センスにため息しか出ません。楽しい師走のスタートとなりました。さて、今年はリース作りはばじょうじだけで終わりません。出張イベントを翌週に開催しました。近くの老人ホームからリクエストがあり、これまで対応してきた参加者と異なり元気が余る親子ではありませんが、また違うセンスを感じさせてもらいました。参加された施設の方々の反応は概ね楽しんでいただけました。お疲れ様でした。

編集記

新年あけましておめでとうございます。皆様にとって良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。今年もたくさんのイベント、まつり、地域の皆様に喜んでいただけるよう励んでいきたいと思っております。

都筑里山倶楽部 スタッフ一同



里山に咲いたロウバイ

里山の竹で作った巣箱を沢山置きました。野鳥さん用建売住宅。売れるといいな。



T.H

■ 12/7 (土) 里山保全体験 (落ち葉かきと焼き芋)

9家族 22名が参加して今年最後のイベントが快晴のもと実施されました。

まずは焼き芋の準備。先月のサツマイモ掘り体験で収穫してあった紅はるかの水で濡らした新聞紙で包み、空気をよく抜いて、さらにアルミオイルで包み、それを半ドラム缶の竹炭の火の中へもぐらせて準備完了。参加者はふた手に分かれて、A班は宮谷戸へ向かい炭焼き部隊のサポーターと合流して、またB班はステージ広場周りで、落ち葉掻き作業の開始。

難なく集められた大量の落葉は大きなブルーシートに乗せて落葉だめの中へ。ここからクライマックスの落葉の布団、落葉のトランポリン、竹の籠をしょってポーズ、ふだんの生活では味わうことのできない体験です。作業をして心地よく体が温まったあと、ぼじょうじに戻ると熱々の焼き芋が待っています。参加者の皆さん、サポーターの皆さん、今年も一年お疲れさまでした。

M.S



■ 12/7 (土) 年忘れの会

今年も一年間の活動の締めくくり?の行事として「年忘れの会」をボランティアの方々とスタッフとでレストハウス1階で開催しました。

午前中少しあった風も納まり冬の日差しの中で気持ちよく開催する事が出来良かったと思います。恒例の里山鍋、フランクフルト、ピザ、焼きそばに加え円形広場で今年チャレンジした自然薯を焼き、午前中開催の焼き芋に加え南さん特製のデザートまで付いています。日中の開催であり徒歩以外の方もいるのでアルコールは抜きですが、お昼のひととき楽しい会話に華が咲いたようです。

また来年も一緒に楽しく活動していきましょう。1年間お疲れさまでした。

K.M



■ 12/8 (土) Xmas リース作り体 老人ホームはなことば

寒さが一段とます12月の初旬、老人ホームはなことば センター「南」に里山のめぐみでリース作りの出張イベントをさせて頂きました。始めは参加された皆様は、机の上に置かれる材料・道具、カレットされた生のモミの木に戸惑われたご様子もありましたが、作り始めると目をキラキラさせ、ご興味と好奇心が湧き出てこられたのか試行錯誤をしながら楽しそうに作っていました。



同じ材料でこんなに違ったものができると、お一人お一人の発想の豊かさに感銘しました。最後にマイリースを手を持ちお部屋に帰っていかれるおばあちゃん達の笑顔に、こちらが元気をもらった一日でした。お部屋で素敵なクリスマスを過ごされますよう心から願います。

M.Y

■ 12/15 (日) お正月飾りを作ろう



今年のお正月作りの朝は冷え込みが強かったようです。なので、炭に火を入れて参加者が暖を取れるようにしました。用意した竹と藁で作った薦(こも)、松を基本に松飾りを作ります。薦を形良く巻き付けるのは茅で編んだ紐で結びます。そのコツを今野さんが丁寧にレクチャーして最後の結びはお手伝いしました。参加者皆さんは苦戦していましたが、彩りを加えるため水引きで作った飾りを添えました。用意した材料は同じですが、やはり出来上がりはみんな個性豊かな松飾りとなりました。これを見させてもらえるのでやめられません。皆さん良いお年を!

T.H

炭焼き 12月の活動/イベント

【ドラム缶MK-1 窯炭焼き】

炭材:長さ68cm長寸(伐採日 2024年1月12日)乾燥日数 丸竹:260日(約9ヶ月)、竹割後:72日(約2ヶ月半)入炭材量:60.43kg、出炭量:16.83kg(27.9%)、良炭量:7.67kg(12.7%)採取竹酢液:12.4L

今回の炭焼きにおける問題

前回11月同様、煙道口への通風孔(穴)を全開で炭焼きを実施した。前々回10月の炭焼き時と同様に、窯内部の温度は精錬前にはそれなりに上昇した(上:380°C、中:590°C、下部:520°C)ものの、精錬開始タイミングでは煙道口の温度が100°C程度しか上がらず、終盤では煙が窯前面から漏れ出てくるバックフローが起きた(この時点で窯裏側のひび割れを点検した)。そこで、窯内部の対流を促すために1時間半にわたり焚口(=通風口)の閉&開を数回繰り返し精錬を行った。バックフローは少しずつ減少し、煙道口の温度は100°Cから150°Cまで上がったが、バックフローが完全にならなかったため、これ以上の精錬を断念し窯締めとした。結果として、回収率・良炭率は予想に反して従来平均よりも高かった(上部は柔らかい炭が多く、下部は硬い炭が多い印象)。

原因の推測

炭焼き中、窯裏面のひび割れを通じて窯外部から内部へ空気の流れがあることを見つけた。これは窯のどこかが破損しており、それが原因で精錬開始タイミングになっても煙道温度が低く良好な精錬ができず、バックフローが発生してしまうのではないかと推測した。この推測を確認するための今後の対応案として、次回の炭焼きでは、まず、①「窯前面の開口部分を炭化の途中から全閉すれば煙道への通風口経由の外気の流入がなくなり、再び煙道温度が上昇して精錬がうまく行くようになるのではないか?」との仮説の確認を行う(炭化が止まってしまう可能性も懸念される)。①の方法で、煙道温度が上昇しなかった場合、次の検証として ②窯裏面のひび割れをコンクリートなどで塞ぐ、あるいは窯背面を解体し目視調査することで外気の流路を特定し、対策を行って、煙道温度が100°Cから250°C以上に上昇する過去の状態に回復させられるかどうかを見極めることにした。

【無煙炭化器による軟炭作り】2回繰り返して実施、収量(合計で)約15kg

【特別プログラム「正月飾り」(ミニ門松の作製)】

2家族5名の参加者を迎え、ミニ門松のはかまに巻くこも編みの作業と最後の仕上げをしていただきました。部会員も加わって年末らしい行事となりました。

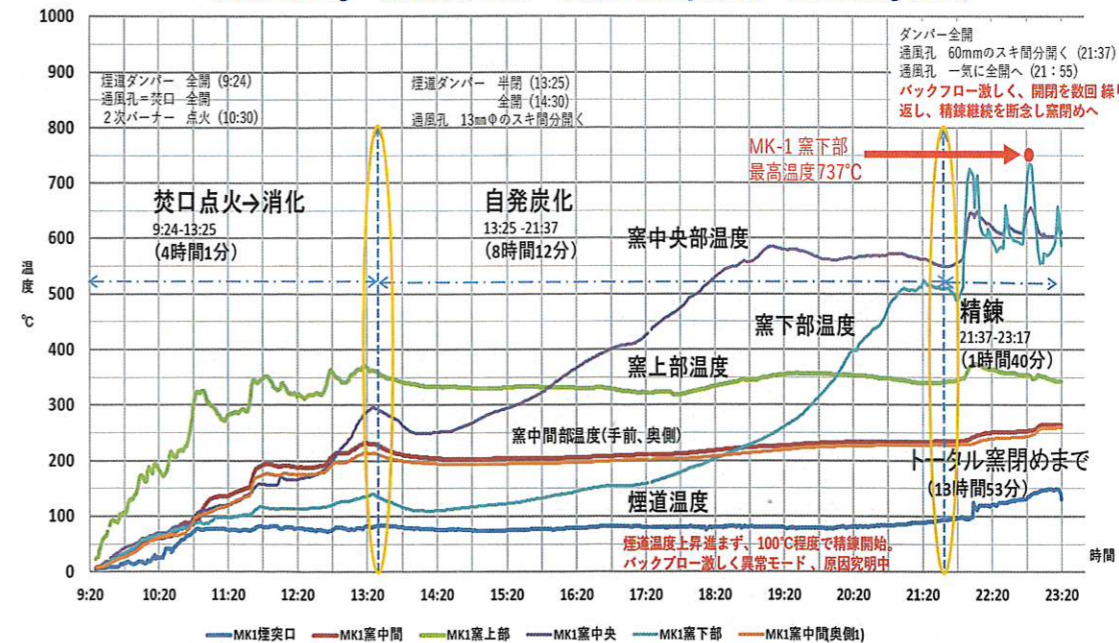
炭焼き部会 J.T

2024年12月14日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 竹炭焼き結果

第252回(窯改修後10回目) 炭焼き、気温 8.3°C、天気 晴れ

炭材:長さ68cm長寸(伐採日 2024年1月12日)乾燥日数 丸竹:260日、割竹:72日

炭材量:60.43kg 採取竹酢液:12.4L 出炭量:16.83kg(27.9%) 良品:7.767kg(12.7%)



炭焼き中のバックフロー(煙の逆流)



窯裏面のクラック(ひび割れ)